

0 総説

0

車両型式一覧	0 - 2
マークII	0 - 2
チェイサー	0 - 3
クレスト	0 - 4
新ダイアグシステム	0 - 5
新ダイアグシステム概要	0 - 5
診断ツール S2000 の機能	0 - 5
診断ツール S2000 の使用方法	0 - 6
ダイアグノーシスコネクターの統廃合	0 - 6
エラー発生時の処置について	0 - 7

車両型式一覧

マークII

	エンジン型式	トランス ミッション型式	グレード			
			グランデG	グランデ	グランデ Four	GL
ラ グ ジ ュ ア リ ト	2JZ-GE (3.0L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-iE)	E-JZX101 -ATPZF			
	1JZ-GE (2.5L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-E)	E-JZX100 -ATPZF	E-JZX100 -ATPQF		
		A340H+UF1AE (4A/T・ECT)			E-JZX105 -ATPQF*	
	1G-FE (2.0L ガソリン)	A42DE (4A/T・ECT)		E-GX100 -ATPQK		
		W57 (5M/T)		E-GX100 -ATMQK		
	2L-TE (2.4L ディーゼル)	A43D (4A/T)		KD-LX100 -ATPQT		KD-LX100 -ATPNT
ス ポ ー テ ィ ー	エンジン型式	トランス ミッション型式	グレード			
			ツアラーV	ツアラーS	ツアラー	
	1JZ-GTE (2.5L ガソリン)	A341E (4A/T・ECT-iE)	E-JZX100 -ATPVZ			
		R154 (5M/T)	E-JZX100 -ATMVZ			
	1JZ-GE (2.5L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-E)		E-JZX100 -ATPSF		
1G-FE (2.0L ガソリン)	A42DE (4A/T・ECT)			E-GX100 -ATPSK		

*: G パッケージ装着車は、車両型式の末尾に-G が付きます。

0

チェイサー

	エンジン型式	トランス ミッション型式	グレード				
			アバンテ G	アバンテ	アバンテ Four	ラフィーネ	XL
ラ グ ジ ュ ア リ ー	2JZ-GE (3.0L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-iE)	E-JZX101 -BTPZF				
	1JZ-GE (2.5L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-E)	E-JZX100 -BTPZF	E-JZX100 -BTPQF			
		A340H+UF1AE (4A/T・ECT)			E-JZX105 -BTPQF*		
	1G-FE (2.0L ガソリン)	A42DE (4A/T・ECT)		E-GX100 -BTPQK			
		W57 (5M/T)		E-GX100 -BTMQK			
	4S-FE (1.8L ガソリン)	A42D (4A/T)				E-SX100 -BTPEK	E-SX100 -BTPNK
	2L-TE (2.4L ディーゼル)	A43D (4A/T)		KD-LX100 -BTPQT			KD-LX100 -BTPNT
ス ポ ー テ ィ ー	エンジン型式	トランス ミッション型式	グレード				
	1JZ-GTE (2.5L ガソリン)	A341E (4A/T・ECT-iE)	E-JZX100 -BTPVZ				
		R154 (5M/T)	E-JZX100 -BTMVZ				
	1JZ-GE (2.6L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-E)		E-JZX100 -BTPSF			
1G-FE (2.0L ガソリン)	A42DE (4A/T・ECT)			E-GX100 -BTPSK			

*: G パッケージ装着車は、車両型式の末尾に-G が付きます。

0

クレスト

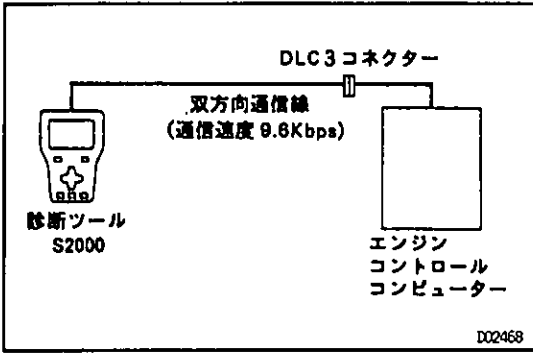
	エンジン型式	トランス ミッション型式	グレード				
			エクシードG	エクシード	スーパーセント	スーパーセントFour	SC
ラ グ ジ ュ ア リ	2JZ-GE (3.0L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-iE)	E-JZX101 -CEPZF				
	1JZ-GE (2.5L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-E)	E-JZX100 -CEPZF	E-JZX100 -CEPUF	E-JZX100 -CEPQF		
		A340H+UF1AE (4A/T・ECT)				E-JZX105 -CEPQF*	
	1G-FE (2.0L ガソリン)	A42DE (4A/T・ECT)		E-GX100 -CEPUK	E-GX100 -CEPQK		
		W57 (5M/T)			E-GX100 -CEMQK		
	2L-TE (2.4L ディーゼル)	A43D (4A/T)			KD-LX100 -CEPQT		KD-LX100 -CEPNT
ス ポ ー テ ィ	エンジン型式	トランス ミッション型式	グレード				
			ルランG	ルラン			
	1JZ-GTE (2.5L ガソリン)	A341E (4A/T・ECT-iE)	E-JZX100 -CEPVZ				
1JZ-GE (2.5L ガソリン)	A340E (4A/T・ECT-E)		E-JZX100 -CEPSF				

*: Gパッケージ装着車は、車両型式の末尾に-Gが付きます。

JE6476

下記項目については、トヨタ マークII、チェイサー、クレスト修理書（品番 62174、1996年9月発行）を参照して下さい。

- 本書の見方
- 作業上の心得および注意
- リフト、ジャッキおよびリジッドラックの支持位置
- ボルトおよびナットの締め付け



新ダイアグシステム

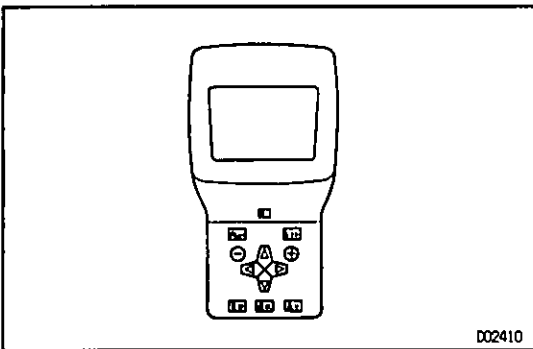
新ダイアグシステム概要

新ダイアグシステムとは、高度化・複雑化する TCCS エンジン、ECT 等車載エレクトロニクスシステムに対応した新しい故障診断システムである。

新ダイアグシステムの故障診断は、車載コンピューターに診断ツール S2000 を接続するのみでリアルタイムに情報のやりとりをしながら進められるため、従来以上に高精度な作業が可能となった。

必要とする情報を入手するためには、初めにエンジニアが診断ツール S2000 を操作し車載コンピューターに情報提供を要求する。コンピューターはリアルタイムで要求に回答して情報を出力し、診断ツール S2000 の画面に表示をする。

診断ツール S2000 は多くの機能を保有しているため、故障診断作業をはじめとして日常的な点検作業等幅広い活用が可能である。

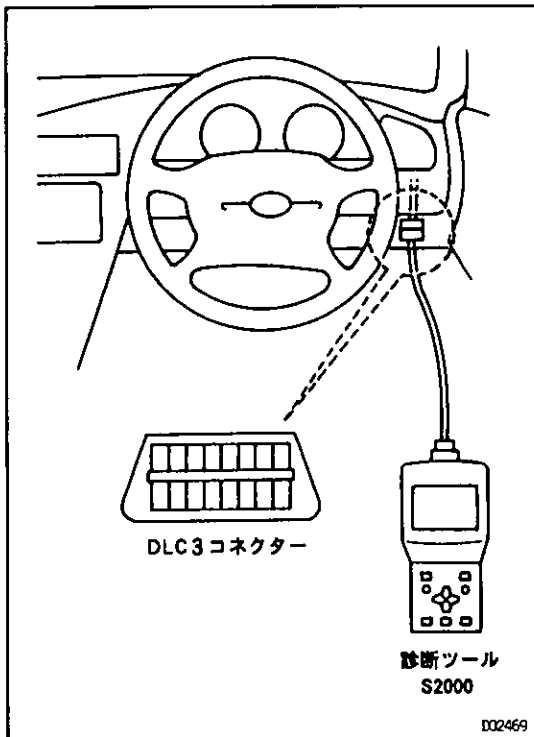


診断ツール S2000 の機能

この新ダイアグに対応した診断ツール S2000 には、下表に示す機能がある。

	概 要
基本点検	1. 点火時期点検 2. 空燃比補償装置点検 3. フューエルポンプ点検 4. スロットルポジションセンサー点検 5. スイッチ信号点検 6. シフトポジションスイッチ点検 7. 変速ソレノイド点検 8. 走行テスト
トラブルシュート	1. ダイアグコードの確認・消去 2. モード（ノーマルまたはチェック）切り替え 3. トラブル診断チャート……ダイアグコード別のトラブルシュート
ECU データモニター	1. データモニター……コンピューターデータをリアルタイムで確認 2. データ記録……任意またはトリガーを設定して自動的に診断ツールに記録することが可能 3. データリプレイ……診断ツールに記録したデータ呼び出す 4. データ保存……診断ツールに記録したデータを IC カードに保存する 5. データ呼出……IC カードに保存したデータを診断ツールに呼び出す
アクティブテスト	燃料噴射量, ISCV, 各種 VSV, ECT ソレノイド等を本来の作動条件に関係なく作動させることができる
汎用計測	1. デジタルテスター……電圧, 抵抗, パルス計測ができる 2. オシロスコープ……2チャンネルのストレージオシロ

0



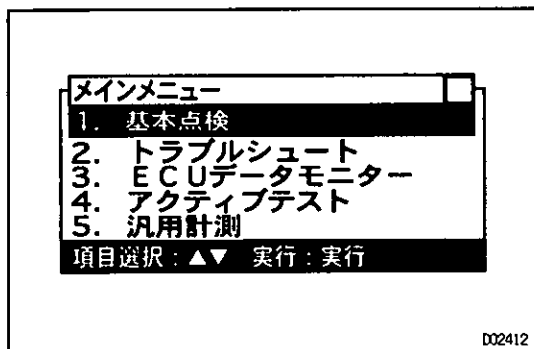
診断ツール S2000 の使用方法

1 車両との接続

運転席足元付近に設置の DLC3 (データリンクコネクターNo.3) コネクターに接続する。

2 診断ツール S2000 の操作

診断ツール S2000 の電源スイッチを ON すると、メニュー画面が表示されるので、実施したい項目を任意に選択し、それ以降画面と対話をしながら作業を進める。

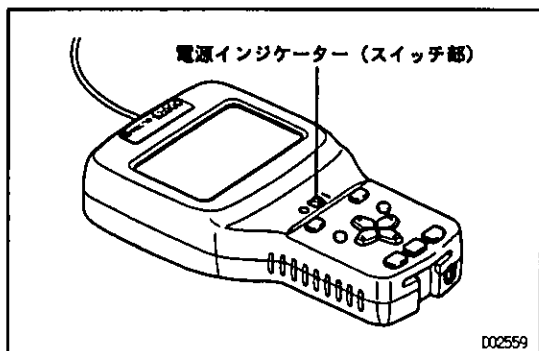


ダイアグノーシスコネクターの統廃合

新ダイアグシステム採用に伴い従来の TDCL (運転席足元付近に設置) は廃止、ダイアグノーシスコネクター (エンジンルーム内に設置) の端子を統廃合した。

統廃合した端子名称		
従 来	DLC3	ダイアグノーシスコネクター
TE1	⇔ TC	←
TE2		
VF		
OX		
CCO	⇒ SIL	廃止
FP		
W		
TT		

0



エラー発生時の処置について

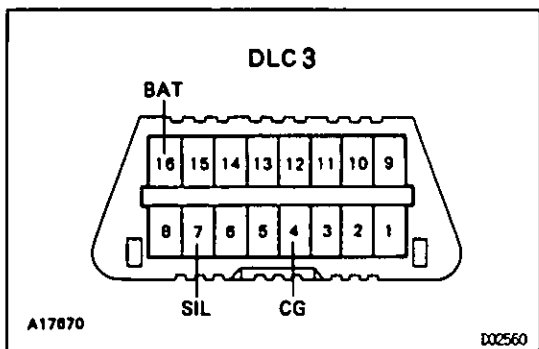
S2000の電源インジケータが点灯しない、またはメニュー実行時(S2000とECUの通信時)“通信エラー”が表示される場合は、以下の点検を行い不具合箇所を修正する必要がある。

1 S2000の電源インジケータ不灯

- (1) 他の車両にS2000を接続し、S2000を起動する。

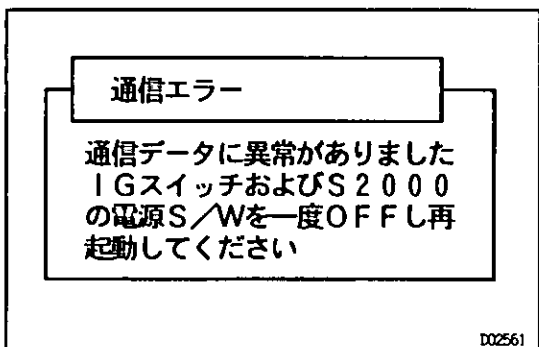
S2000の電源インジケータが点灯する場合	車両側の不具合 DLC3 +B, アース点検 ・BAT端子の電圧点検 ・CG端子⇄ボデー間の導通点検
S2000の電源インジケータが点灯しない場合	S2000本体の不具合

JB7307

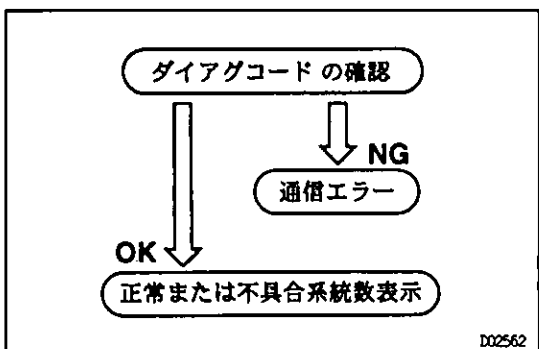


2 通信エラーメッセージを表示

- (1) IGスイッチおよびS2000の電源スイッチを一度OFFし、再度S2000を起動する。



- (2) 再起動後、ダイアグコードの確認を行った時に再度“通信エラー”が表示される場合は、他の車両にS2000を接続してダイアグコードの確認を行う。



S2000が正常に作動する場合	車両側の不具合 1. DLC3通信ライン点検 ・DLC3のSIL端子の電圧点検 (IGスイッチ ON, エンジン停止時) ・DLC3のSIL端子と不通ECUのSIL端子間の導通点検 2. 不通ECU +B, アース点検 3. 不通ECU交換
S2000に“通信エラー”が表示される場合	S2000本体(含むソフト)の不具合

JB7308

MEMO